



新年のご挨拶

コロナ禍、「思考活動」をしてみませんか？

—「総合的な探究の時間」について思うこと—

あけましておめでとうございます。去年は想像を絶する1年でしたね。今年は状況が好転すればと希望はしていますが……。

昨年来のコロナ禍でそれ以前のような活動ができず、もどかしい思いをされていませんか。友人との活動、屋外での活動等が抑えられている中、もしかすると個人的に費やす時間が増えていませんか？ 個人的な時間を少し知的な活動に使ってみませんか？

高校生の皆さんの中には、「総合的な学習の時間」という科目が今後「総合的な探究の時間」という科目に名称変更することを御存知で、既に自主的な探究活動を展開されている方も多いと思います。「探究」の意味を調べてみると「問題解決をすることを目的とする思考プロセスのこと」とのことです。この科目、他の数学、英語といった科目と違って、何だか掴みどころがないと思っている方もいるかもしれません。

いま、人工知能(AI)が脚光を浴びています。囲碁、将棋、チェスにおいては既にAIが人間を超えようとしています。また、将来、今ある職業の半分はAIが肩代わりするとも言われています。肩代わりできる職業とできない職業、どこに差があるのでしょうか？

AIは難しい問題を解くことができますが、その意味は分かっていません。意味が分からず与えられた学習データを丸暗記するようなことをAIは行っています。一方、人間が答えを導くことは、どうしてそうなったかを説明することと同じです。すなわち、答えは思考プロセスの結果として導かれています。

また、人間はそれ以前に解いたことのない有益な未知の問題を見つけ、そして、それまでに身につけた思考プロセスに基づいてその問題の答えを導くことができます。AIには問題を見つけることもできませんし、ましてや、思考プロセスを持たないAIにはその問題を解くこともできません。

さて、「総合的な探究の時間」の話に戻ります。「総合的な探究の時間」は「課題の発見と解決」を目的にしている科目です。「課題の発見」と「課題の解決」は人間らしい活動であり、思考プロセスを身につけるチャンスになります。もしかすると皆さんの中には意味も分からず丸暗記して中間試験、期末試験に臨んできた方がいるかもしれません。丸暗記ではAIには勝てませんよ!!

コロナ禍、個人的に費やす時間が増えた皆さん、課題を見つけて、思考活動を行ってみてください。例えば、「AIって何なの?」、「AIってどんな能力を持っているの?」なんて課題だってあります。「プログラミング」の好きな諸君は新しいアプリ開発もよいでしょう。自分で調べ、自分で理解し、創ったり、想像したりする。どんな些細な思考活動であっても、思考は人間にしかできません。将来、AIとの共存共栄を図るためには人間は人間にしかできないことで、その力を発揮する必要があるのですから。

(東京都市大学 田口 亮)